

広報 南丹

こうほうなんたん

Nantan city PR Magazine

2024

12-1

Vol.122

表紙

にゃんたん市プロジェクト公式キャラクター

にゃん探

巻頭特集

南丹市財政健全化 プラン

topics

- ・バイオガスサミット2023
- ・南丹市企業によるCSR活動
- ・令和5年度予算執行状況

南丹市財政健全化プランの概要

For the future

南丹市財政健全化プラン

これからの持続可能なまちづくりのための

NANTAN CITY

平成18年1月1日にゆるやかな合併を基本として各町の良いところ、高いサービスを全市的に取り組む合併協議が進められ、合併時から引き継いだ多くの公共施設や高い水準の市民サービスを維持してきました。

人口減少や合併による財政効果が減ってくる中であっても、長い間、ほとんど見直さずに継続しているため、合併後の行財政のスリム化があまり進まず、基金(貯金)を崩さない「予算が組めない」いわゆる『赤字体質』の財政運営が合併から今日に至るまで続いています。

本市では、合併時から存在してきた課題とこれからの負担を次の世代に先送りにせず、「ここが正念場」という危機感を持って財政健全化の取り組みに着手するため「南丹市財政健全化プラン」を令和5年10月に策定しました。

将来に向けた財政健全化をめざし、さらなる努力を重ねてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



南丹市 西村 良平市長

基金(貯金)の取り崩しを当てにした「赤字体質の財政運営」

下のグラフからも分かるように、市の決算の収支状況は、17年連続で「黒字」(図1)ですが、実際には、ほとんどの年度で多額の基金(貯金)を取り崩して、収支の赤字を補う「赤字体質」(図2)の厳しい財政運営が続いています。さらに、今後も人口減少と高齢化が間違いなく進み続け、収入減や収支不足の増大も見込まれるため、このまま放置しておけば、市の財政は行き詰まってしまうというのが本市の現状です。

このため、収入に見合った支出を基本とする財政構造に変えていくため、公共施設の見直しや歳出の見直しなどによる財政健全化の取り組みが必要です。

図1 実質収支の推移

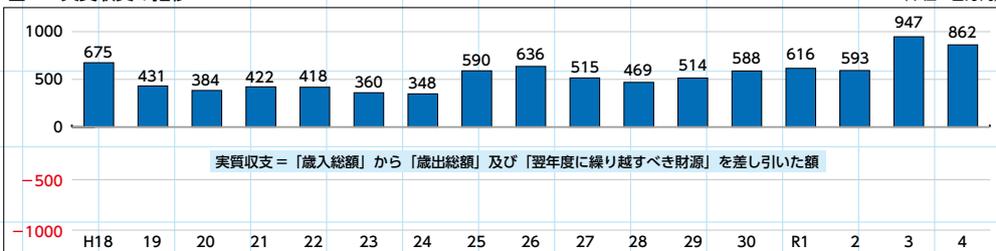
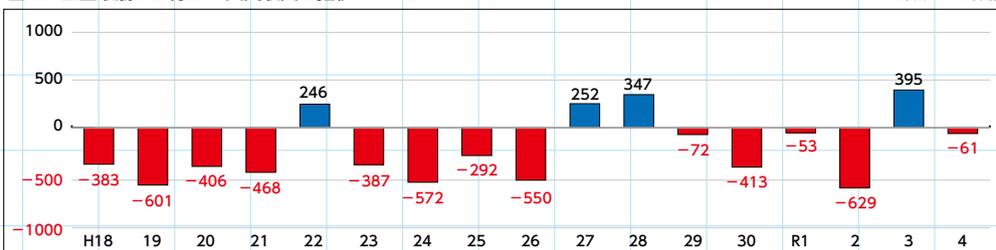


図2 基金取崩しを除いた実質収支の推移



①人口減少と少子高齢化

本市の人口は減少の一途をたどり、令和27年には約2万人まで減少すると推計されています。人口減少によって市税や交付税の減少、高齢化による社会保障費など、支出の増加が見込まれます。

②一般財源の縮小

本市の自由に使える一般財源の規模は、減少傾向となっています。(家計でいえば、毎月のお給料のようなものです。)

③多すぎる公共施設

合併時にほとんど南丹市に引き継がれ、同じ機能を持った公共施設が旧町ごとにあります。人口減少と財源の縮小から市にかかる負担は極めて大きくなります。

④経常収支比率上昇による財政硬直化

令和4年度に100%に近い水準に急上昇しており、新たな行政課題への対応が難しい状況になりつつあり、経常的な支出経費の縮減が急務になっています。(家計における食費やローン返済額などが毎月のお給料のほとんどを占めており、自由に使えるお金が少なく、余裕がないこととなります。)

⑤積み残した大型事業

必要な大型事業が、積み残っており、有利な合併特例債を活用できる令和7年度までに計画的に実施していかなければなりません。

財政シミュレーションでは、計画期間中の収支は、毎年度16億円以上の赤字が続き、累計で約74億円の収支不足が見込まれます。

その収支不足を、基金(貯金)の取り崩しで補うと令和8年度には、財政調整基金が大規模災害などの不測の事態に対応するのに必要な約13億円を下回ってしまい、市全体の基金残高は、令和6年度の約70億円から令和9年度には半分の約35億円となる見込みです。

→このままの財政状況が続けば、近い将来、基金(貯金)がなくなってしまうおそれがあります。

抜本的な改革に今、踏み出さないと南丹市の未来はない

▶▶▶ 財政健全化の目標

令和9年度までに収入の確保と収入の規模に見合った支出の見直しにより収支を改善させ、基金の取り崩しに頼らない財政運営をめざします

◆取組期間……令和6年度(2024年度)から令和9年度(2027年度)までの4年間

財政健全化の 7 つの取組方針

- (1) 多すぎる公共施設の廃止や統合、譲渡などに取り組みます
- (2) 補助金等の10%減額など補助金・交付金を見直します
- (3) 市独自のお金で任意に実施する事業を見直します
- (4) 市民の安全を確保する以外の工事を見直します
- (5) 事業の見直しと合わせて人件費の総額を抑制します
- (6) 市外利用者や営利目的の利用など適正な受益者負担になるよう使用料・手数料を見直します
- (7) ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度を積極的に推進し、収入の確保に努めます



バイオガスサミット2023

in京都・南丹市八木

1998年、南丹市八木町に日本全国で初めてとなる大規模バイオガスプラントが共用開始されました。共用開始から26年目を迎えた今、2050年カーボンニュートラルに向けて全国の模範となる施設として資源循環を図り、今後一層の付加価値を高め、農業者や全国の有識者と次の時代のバイオガスプラントを目指すため「バイオガスサミット2023 in 京都・南丹市八木」を10月21日に氷室の郷で開催し、農業者や行政関係者ら約150人が市内や全国から集まりました。



次世代型バイオガスプラントを目指して

◆南丹市八木バイオエコロジーセンターとは

乳牛などの家畜ふん尿やおからなどの食品残渣をメタン発酵処理するメタン施設と、メタン施設から排出された脱水後の固形分と肉牛のふん尿などを攪拌・発酵し、堆肥化させる堆肥化施設を有しており、地域バイオマスを活用した産業の創出と地域環境の改善、地域循環型社会の創造に寄与している施設です。

◆メタン施設とは

メタン施設ではメタン発酵処理によりメタンを約65%含む消化ガスが発生します。この消化ガスをガスホルダーに貯留し、脱硫酸で硫化水素を除去した後、消化ガスをガスエンジンに送り、ガスエンジンで発電機を回転させ発電を行っています。

一方、メタン発酵処理が終わった家畜ふん尿など(消化液)には肥料成分が残っているため、液肥として農地還元しています。また、多くを脱水後に排水処理して河川に流しています。

◆課題

消化液を河川に放流するために排水処理を行っています。薬剤費や電気代などの経費が大きく嵩んでいます。消化液を液肥として農地還元できれば排水処理に係る経費は抑えられるため、より一層の液肥の利用拡大に向けた取り組みを進めて行くことが必要です。

また、施設の老朽化が進み維持管理費が増大していることから、今後も計画的に施設の維持管理を進める必要があります。

バイオガスサミット

バイオガスサミットでは、バイオガス事業に精通する講師の方々の講演や国の関係機関からの情報提供、消化液を生産活用している農業者の声などをいただき、次世代のバイオガスプラントを目指すための多くのヒントを得ることができました。



▲講演に熱心に耳を傾けるサミット参加者



▲Webで会場と北海道・宮崎県の農業者を繋いだ



▲バイオガスサミット開会の挨拶をする西村市長

◆Program

末松広行 氏
東京農業大学総合研究所
特命教授(元農林水産省事務次官)

バイオガスによるエネルギーはカーボンニュートラルなものであるため、メタン施設が注目されている。今までは当施設が先進地であったが、施設を維持していくための安定的な経営が重要で、収支バランスの最適化が必要。消化液は有機農業にも使用できる資材であり、運搬・散布コストの低減が見込まれる濃縮が行われつつある。

菊池貞雄 氏
環境省脱炭素まちづくりアドバイザー

バイオガスをめぐる情勢は、畜産ふん尿処理施設から脱炭素社会に向けた地域資源循環インフラに発展した。食品廃棄物や生ごみ、家畜ふん尿などの処分を広域連携し、地域の資源として活用していくことも考えられる。



- ① 未来を拓くバイオガス 東京農業大学総合研究所特命教授 末松 広行 氏
東京大学未来ビジョンセンター客員教授 (元農林水産省事務次官)
- ② 農業地帯のまちづくりとバイオガス バイオマス産業界連携協議会会長(北海道卸町長) 碓 一寿 氏
- ③ バイオガスが作り出す地域循環 - 消化液の基礎 - 国立大学法人北海道国立大学機構 帯広農科大学 名誉教授 梅津 一孝 氏
- ④ 取り組んできたバイオ液肥・堆肥の資源循環 公益財団法人八木町農業公社事務局長 中川 悦光 氏
- ⑤ バイオガス関連政策の情報提供 農林水産省大宮環境環境バイオマス政策課
環境省大宮環境環境政策課環境再生推進課長
経済産業省近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
- ⑥ 全国のバイオガス農家をつないで 北海道釧路市 野村牧場/宮崎県新富町 本部農場・宮本農場
環境省脱炭素まちづくりアドバイザー 菊池 貞雄 氏



▲35名の方が参加したプラント見学会

◆これからの南丹市八木バイオエコロジーセンターについて

今回のバイオガスサミットを通じて、南丹市八木バイオエコロジーセンターは脱炭素社会の実現を目指す上でも、地域農業の発展や循環型社会の創造を図る上でも重要なカギを握っている施設であることを再認識することができました。

バイオガスサミットを機に、市民の皆さんにもこれまでの取り組みや施設の必要性をご理解いただき、より一層の取り組みを進めていきます。

【問い合わせ先】

農業推進課

(0771) 68-0060

CSR活動を「ご存知ですか？」

CSR活動とは、企業が環境活動、ボランティア、寄付活動等を通して社会貢献を行うことを意味しています。今号では、南丹市の企業が行うCSR活動を紹介します。



吉富駅お色直しプロジェクトを展開しました!!

世界で唯一、軽自動車から大型車のCVT（無段変速機）を取り扱うジャトコ株式会社。世界でもトップシェアを誇る同社の工場が南丹市八木町にあります。ジャトコ八木工場は11月21日(火)から24日(金)の4日間、「吉富駅お色直しプロジェクト」と題して、階段手摺のペンキ塗りや階段壁のジェット洗浄、シーラー塗装を行いました。

- ①作業は手摺の錆を落とすことから始まり、手ぬぐいで乾拭きをし、ムラなくペンキが塗り上げられました。
- ②南丹市を良くするためにプロジェクト参加を志願したスタッフの皆さん。
- ③4時間の作業を経て美しく生まれ変わった吉富駅の手摺。



日々の感謝を込めて

吉富駅の一日の利用者数はおよそ800名。そのうちジャトコ従業員の利用者は全体の35%を占めています。こうした経緯から、ジャトコ八木工場の古郡工場長は「吉富駅を綺麗にするのは我々しかない」と感じたそうです。

プロジェクト初日、古郡工場長は集まった17人の従業員ボランティアに対し「利用者が何気なく駅を利用した際に、きれいだなと思われる駅を目指そう」と声を掛けました。

プロフェッショナルな指導

本プロジェクトは、社内の部署ごとにボランティア募集を募り、部署の垣根を超えたプロジェクトとなりました。そんなボランティアメンバーを取り仕切るのは、元ジャトコの監督者である5名で構成されたFIVEGと名付けられた組織。普段から八木工場では、彼らを中心に従業員は社内美化に取り組んでいます。

作業開始前には、FIVEGから「ペンキは筆の半分まで付け、丁寧に手摺を塗り上げるように。多方向から見てもムラがないか確認しながら見てください」と指示が出されました。



ジャトコ株式会社 八木工場 古郡 電也工場長

自ら率先して身体を動かす

ジャトコ株式会社本社のグローバル広報部、川上さんは、ジャトコの社風を次のように話します。「企業が社会貢献活動を行う場合、NPOやNGOへ資金を援助する場合があります。一方でジャトコでは、資金援助の形ではなく従業員一人ひとりが実際に行動を起こし地域に貢献することを大切にしています。そして、従業員にとって地域の反響を直接得ることがプラスに働くと考えています」

目標は地元へ愛されること

ジャトコ株式会社の本社がある静岡では、年々少子高齢化や若者離れが進んでいます。そんな地域課題に向き合おうと、行政と企業が連携して、都内の学生を工場に招きいれ、社会勉強ができる場を提供するなど、将来的に地域が活性化するように、地域課題にも向き合っています。

川上さんは、「ジャトコは、本社がある静岡県では知名度があるものの、南丹市での知名度はまだまだ低いと思います。これから南丹市に貢献し、地元へ愛される企業を目指したい。今後、本社と同じような取り組みを南丹市でも進めていければ」と話します。



ジャトコ株式会社 グローバル広報部 川上 大樹さん

難病の子どもとその家族へ『夢』を。



家族の大切な時間にどれだけ色をつけられるか

難病と闘う子どもと家族を応援している公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」の活動に賛同し、「自然の中でゆっくり過ごし、初めてのグランピングを楽しみたい」という願いを叶えるべく、るり渓温泉を管理運営する「カトープレジャーグループ(KPG)」が全面協力を行いました。

- ①人と関わるのが大好きというまなと君。まなと君の周りにはいつも沢山の笑顔で溢れています。
- ②初めてのバーベキュー。好きな野菜を自由に選ぶことができます。
- ③ミッキーが大好きなまなと君。ミッキーの飾りが部屋を彩ります。



「難病の子どもを抱える家族達は、社会からだんだんと孤立していく傾向にあります。社会の人達とそんなご家族をつなげるのが僕たちの役割です。そのつながり先として、現在全国で13の企業が協力してくれています。中でもKPGさんは、宿代や食事代、トロッコの乗車賃も負担してくれます。全面的な協力に感謝するとともに、KPGさんにとっても普段とは違う特別な体験になることを願っています」

我々の役割

「難病の子どもを抱える家族達は、社会からだんだんと孤立していく傾向にあります。社会の人達とそんなご家族をつなげるのが僕たちの役割です。そのつながり先として、現在全国で13の企業が協力してくれています。中でもKPGさんは、宿代や食事代、トロッコの乗車賃も負担してくれます。全面的な協力に感謝するとともに、KPGさんにとっても普段とは違う特別な体験になることを願っています」

「一番多かったのはミッキーマウスに会いたいという答えでした。この事実を知って何も動かないお前はそのままでもいいのか？そう考えるようになりました」
 子どもの純粋な願いに心を動かされ、自分のためではなく、子どもたちの夢のために仕事をしたいと決意されました。



公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を
代表理事
大住 カさん

「難病のお子さんを持つ家族は、普段我々が想像もできないほど大変な中で子育てをされていると思います。るり渓温泉での体験を通じて、日常を忘れられるような楽しい時間を設けたい。帰宅後も、るり渓温泉での楽しい時間を思い出して、心が安らぐ瞬間を作れたら」

南丹市への想い

「難病のお子さんを持つ家族は、普段我々が想像もできないほど大変な中で子育てをされていると思います。るり渓温泉での体験を通じて、日常を忘れられるような楽しい時間を設けたい。帰宅後も、るり渓温泉での楽しい時間を思い出して、心が安らぐ瞬間を作れたら」

「難病のお子さんを持つ家族は、普段我々が想像もできないほど大変な中で子育てをされていると思います。るり渓温泉での体験を通じて、日常を忘れられるような楽しい時間を設けたい。帰宅後も、るり渓温泉での楽しい時間を思い出して、心が安らぐ瞬間を作れたら」



KPG Wellness West
Kyoto
江口 翼部長(右)
小川 将司副支配人(左)

願いが一つ叶うとすれば

「時間と人を費やし究極のホスピタリティを提供したい」そう語るのは、KPGの江口部長と副支配人の小川さん。難病と闘う子どもとその家族に対する想いを次のように話します。

ベストを超えるベストを尽くす

「時間と人を費やし究極のホスピタリティを提供したい」そう語るのは、KPGの江口部長と副支配人の小川さん。難病と闘う子どもとその家族に対する想いを次のように話します。

公表します!

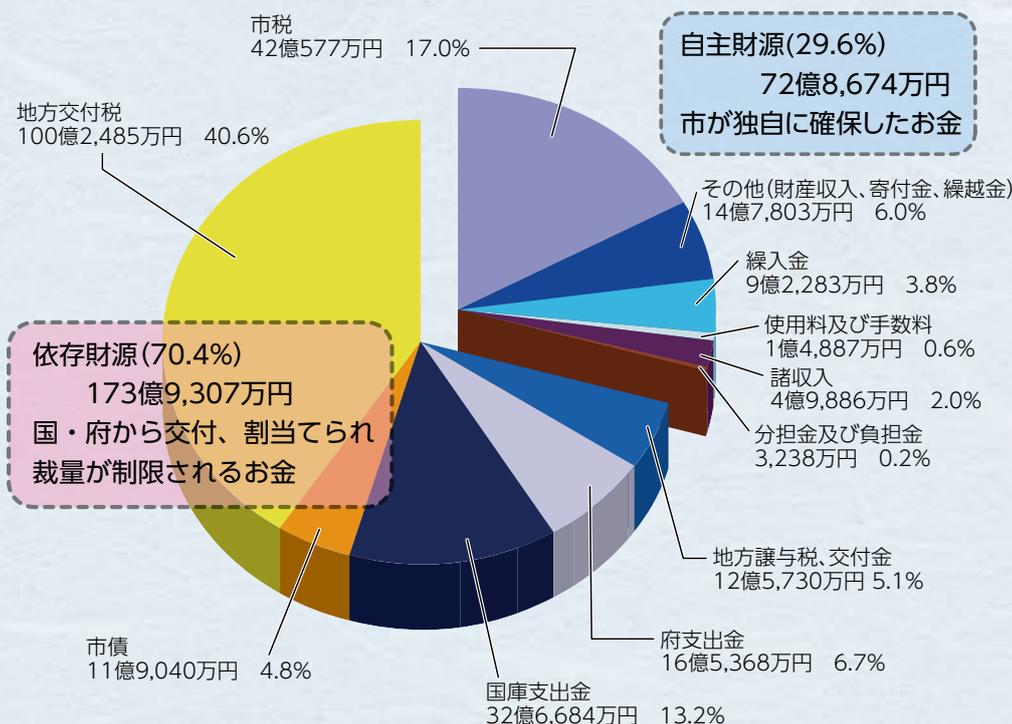
※表示単位未満四捨五入のため
合計が一致しないことがあります。

皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるのかを知っていただくため、年2回財政状況を公表しています。

今回は令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の決算状況と令和5年度上半期(令和5年4月1日から令和5年9月30日)までの予算執行状況をお知らせします。

令和4年度決算

一般会計 歳入
246億7,891万円



○一般会計の決算
令和4年度の一般会計決算は、歳入総額246億7,891万円、歳出総額233億6,326万円となりました。歳入歳出差引額は10億4,712万円です。このうち翌年度へ繰り越すべき財源1億8,521万円を差し引いた実質収支額は8億6,191万円の黒字決算となりました。
南丹市では、今後とも事務事業の見直しを積極的に行い、長期的に安定した健全な財政運営を目指します。

健全化判断比率	指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和4年度		—	—	12.0%	55.9%
早期健全化基準		12.85%	17.85%	25.0%	350.0%
財政再生基準		20.00%	30.00%	35.0%	—

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」としています。

資金不足比率	会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
南丹市水道事業会計		—	20.0%
南丹市下水道事業会計		—	

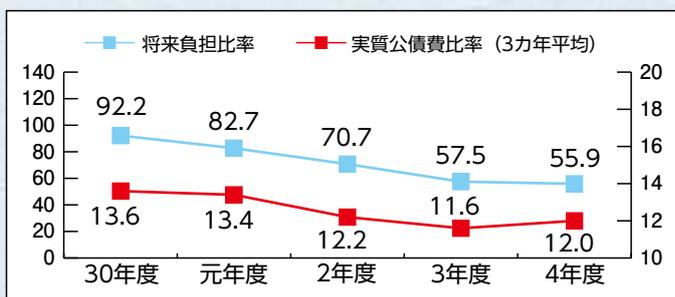
※資金不足額がないため、資金不足比率は「—」としています。

○財政健全化判断比率等
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、地方公共団体は毎年度、決算に基づいて健全化判断比率などを算定し、監査委員の審査に付した上で、その意見を付けて議会に報告するとともに、市民の皆さんに公表することとされています。

○都市計画税の使途

都市計画税 充当事業区分	事業費	都市計画税 充当額
都市計画事業	1億1,861万円	3,287万円
都市計画事業に充当した地方債償還額	4億7,366万円	2,710万円
下水道事業会計繰出金	7億8,376万円	4,485万円
計	13億7,603万円	1億4,482万円

○健全化判断比率の推移(単位：%)

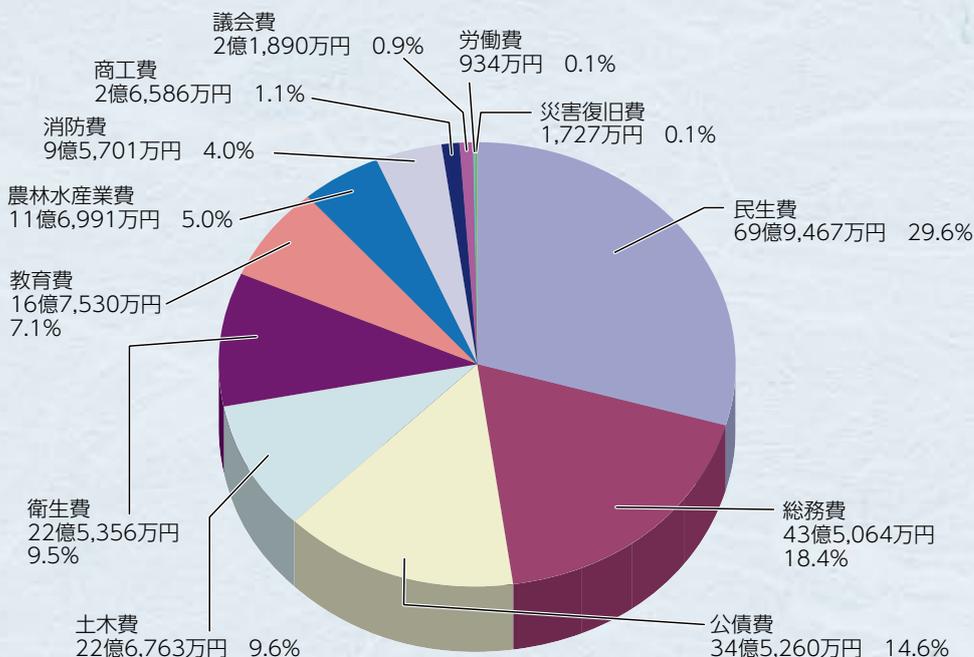


財政状況を

一般会計 歳出
236億3,269万円

○特別会計の決算

特別会計とは、特別の事業を行うために一般会計と分けている会計のことです。国からの補助金などもありますが、その経費は受益者(サービスを利用される方)が負担するのが原則です。
南丹市には5つの特別会計があり、令和4年度のそれぞれの決算状況は、右下の表のとおりです。



○公営企業会計の決算

公営企業会計とは、市が直営する水道・病院・交通など、自治体が住民福祉の増進を目的に設置し、経営する企業の会計のことです。
南丹市は水道及び下水道事業を公営企業会計としており、令和4年度のそれぞれの決算状況は、右の表のとおりです。

特別会計

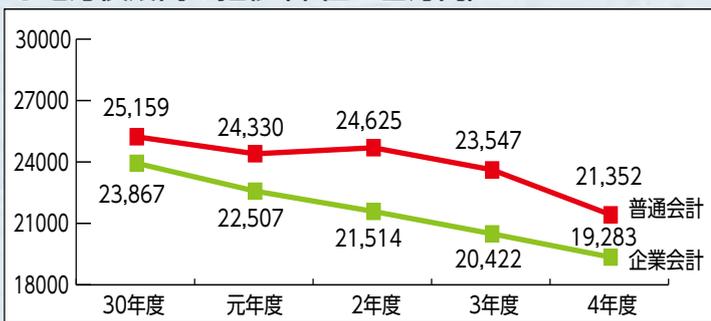
名称	歳入	歳出	差引	
国民健康保険事業	事業勘定	36億3,831万円	36億2,130万円	1,701万円
	直診勘定	1億8,540万円	1億8,540万円	0円
介護保険事業	43億9,493万円	42億110万円	1億9,383万円	
市営バス運行事業	6,292万円	6,292万円	0円	
土地取得事業	5万円	5万円	0円	
後期高齢者医療事業	5億7,378万円	5億6,125万円	1,253万円	

公営企業会計

会計名	歳入	歳出	差引	
水道事業	収益的	10億1,002万円	9億9,046万円	1,956万円
	資本的	3億8,590万円	9億6,274万円	▲5億7,684万円
下水道事業	収益的	26億6,624万円	24億4,314万円	2億2,310万円
	資本的	9億3,848万円	17億9,689万円	▲8億5,841万円

※資本的収支の収入不足は留保資金などで補てんしました。

○地方債残高の推移(単位：百万円)



○地方消費税交付金

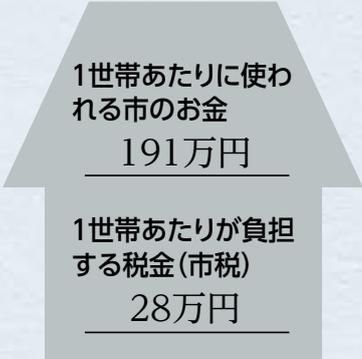
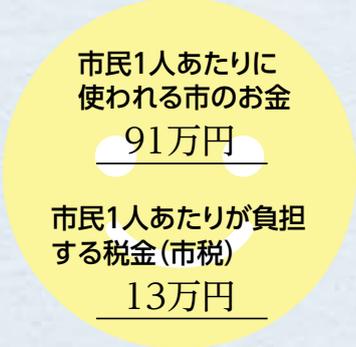
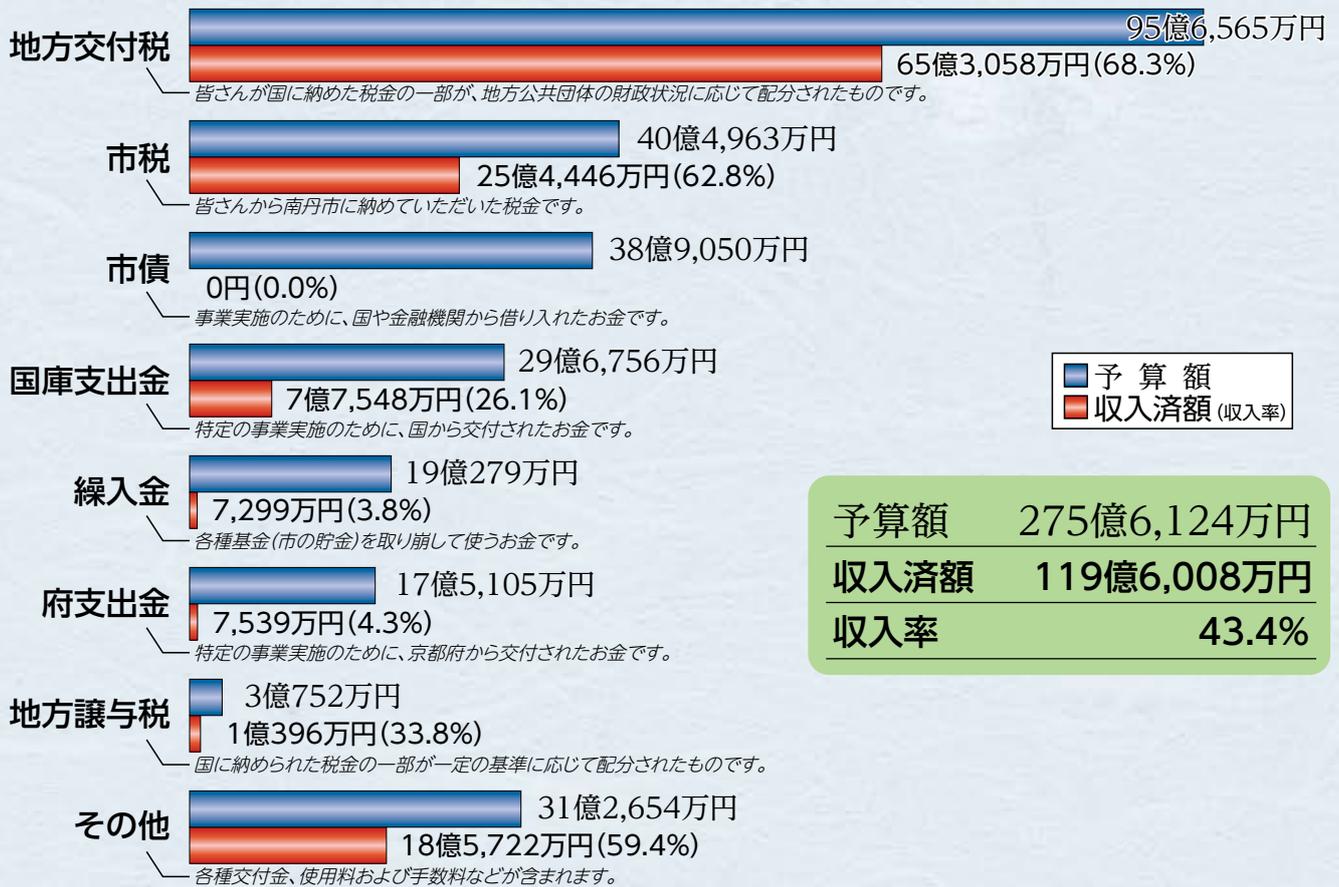
(地方消費税引上げ分の社会保障施策への充当)

地方消費税交付金(社会保障財源分)充当事業区分	事業費	地方消費税交付金(社会保障財源分)充当額
社会福祉	25億9,622万円	2億2,741万円
社会保険	10億5,969万円	1億6,082万円
保健衛生	1億6,926万円	2,863万円
計	38億2,517万円	4億1,686万円

令和5年度予算執行状況

一般会計 <<歳入>>

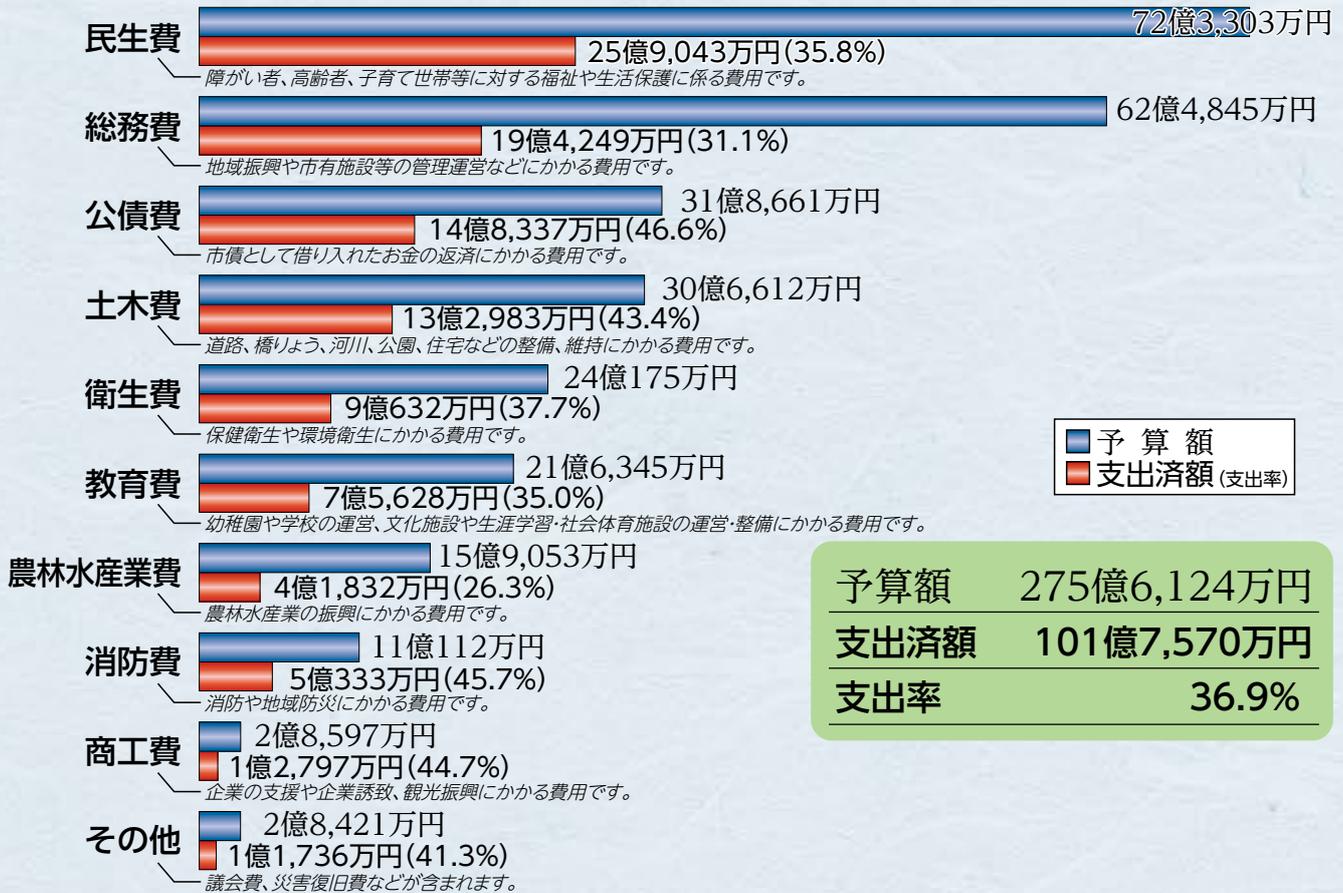
※ 繰越予算額を含む
※ 単位未満四捨五入



◆算出方法◆
 市民(世帯)に使われるお金=総予算 ÷ 人口(世帯数)
 市民(世帯)が負担する税金=市税予算 ÷ 人口(世帯数)
 ※令和5年9月30日現在の
 人口 30,187人 世帯数 14,404世帯

一般会計 <<歳出>>

※ 繰越予算額を含む
※ 単位未満四捨五入



特別会計

※ 繰越予算額を含む
※ 単位未満四捨五入

名称	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率	
国民健康保険事業	事業勘定	38億3,925万円	13億828万円	34.1%	12億6,940万円	33.1%
	直診勘定	2億3,003万円	3,581万円	15.6%	6,886万円	29.9%
介護保険事業	44億5,363万円	18億8,660万円	42.4%	17億3,052万円	38.9%	
土地取得事業	8万円	1万円	12.5%	0円	0.0%	
後期高齢者医療事業	6億549万円	1億9,432万円	32.1%	1億9,405万円	32.0%	

※ 令和5年度から市営バス運行事業特別会計は、一般会計への統合による廃止

公営企業会計

※ 繰越予算額を含む
※ 単位未満四捨五入

名称	区分	収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	支出率
水道事業	収益的	9億9,833万円	3億8,328万円	38.4%	10億8,469万円	1億8,557万円	17.1%
	資本的	3億9,406万円	3,297万円	8.4%	7億8,954万円	1億9,113万円	24.2%
下水道事業	収益的	26億1,704万円	11億7,256万円	44.8%	24億6,005万円	2億9,589万円	12.0%
	資本的	9億5,813万円	1億1,365万円	11.9%	19億2,227万円	8億9,975万円	46.8%

「全国のファンが集結!!DODホリデー」



▲参加者全員で記念撮影をする様子

10月28日、29日にスプリングスひよしでDODユーザーが集まる「DOD HOLIDAY!」が開かれました。

DODとは、ビーズ株式会社の一部門であるアウトドアブランドで、ウサギのロゴマークがあしらわれたデザインが特徴。DODのお洒落で多機能なキャンプグッズは全国で好評を博しています。

当日は、抽選で選ばれた約150組の参加者がキャンプを楽しみました。会場となったスプリングスひよしのスタッフの方は「イベントを目当てに沖縄から足を運んでくださる方もいます。キャンプにとって冬は厳しい季節ですが、参加された方にとって良い場所であれば」と話されました。

(10月28日、29日DOD HOLIDAY!)

「子ども達と本の心ときめく出会い」



▲児童に本の選び方を説明する様子

10月19日、美山小学校に南丹市立図書館が、学校図書館連携図書を中心として選んだ本、500冊を持参し、児童、教職員に直接手に取りながら学校で利用する団体貸出図書を選んでもらい貸出する「ときめきブックキャラバン～学校図書館連携図書活用事業～」が行われました。

児童は図書館職員からおすすめの本の紹介と本の選び方の説明を聞いた後、自由に本を手にとって選んだり、その場で読んで楽しんだり、本のリクエストカードを記入したりしました。

(10月19日 ときめきブックキャラバン～学校図書館連携図書活用事業～)

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲西村市長(左)と大内さん(真ん中)と國府教育長(右)

有限会社JTO物流から、企業版ふるさと納税として寄附をいただき、11月17日、西村市長と國府教育長から感謝状が贈呈されました。代表取締役の大内誠さんは「寄付金は、子どもたちの教育のために是非役立ててほしい」と話されており、南丹市では「南丹市地域創生推進プロジェクト」として、吹奏楽部の楽器購入や放課後児童クラブの無線LANの整備事業の財源に活用する予定です。

(11月17日 企業版ふるさと納税の感謝状贈呈)

「南丹市子ども達を勇気づけたい」

「地域全体で祝う創立150周年」



▲胡麻郷小学校創立150周年記念式典の様子

10月28日、胡麻郷小学校創立150周年記念式典を開催しました。ご来賓をはじめ、保護者、地域の方等多くの方に出席いただき、盛大にお祝いすることができました。当日は、児童による学習発表会・金管発表、カズコ・ザイラーさんによるピアノコンサートを開催し、150周年に花を添えました。最後には、今後の本校の発展を祈念するべく、参加者全員による歌声が会場中に響き渡りました。

(10月28日 胡麻郷小学校創立150周年記念式典)



▲八木町観光協会寺田会長(左)と南丹市教育委員会柴田次長(右)

11月1日、子どもたちに地域の歴史を伝えるため、八木町観光協会が南丹市教育委員会へ、漫画冊子「清源寺の木喰さん」を贈呈しました。この漫画本は、八木町観光協会30周年記念事業として作成されたもので、清源寺に伝わる十六羅漢由来記を基に八木町観光協会が原案を作成し、漫画の執筆はイラストレーター・漫画家の中川英明さんに依頼。八木町観光協会の歴史紹介漫画本の作成は「八木城と内藤ジョアン」に続いて2冊目となります。

4000冊を作成され、前回同様に、2200冊が南丹市内の小中学校へ配布されました。

11月1日 八木町観光協会、南丹市教育委員会へ漫画冊子贈呈

「八木町観光協会、子ども達に歴史漫画冊子を贈呈」



▲京水菜を持つ学生達と農家の方

10月27日に八木町神吉で、京都中部総合医療センター看護専門学生による農業体験が行われました。この体験は、学生が「農業体験」を通して在宅看護の学びを深めるために、取り入れられたカリキュラムの一つです。

当日は農家の方々の指導のもと、学生がビニールハウス内で京水菜の収穫や袋詰め作業を行うなど、地域生活についての理解を深めました。農家の方は「普段何気なくスーパーに並んでいる水菜ですが、体験を通じて商品を出荷する努力を感じてほしい。食べ物を大切に作る心が養われることを願います」と話されました。

10月27日 京都中部総合医療センター看護専門学生による農業体験

「農業を通じて地域の暮らしを学ぶ」

「恒久平和への誓いを新たに」



▲献花を行う参列者

10月23日、日吉生涯学習センターで南丹市戦没者追悼式を執り行いました。

遺族や来賓含め約80人が参列され、先の大戦で尊い命をささげられた南丹市出身の英霊に対し、追悼と感謝の意を表しました。

西村市長は「戦争の悲劇を二度と繰り返さぬよう、未来を担う子どもたちに平和の尊さを伝えていくことを、ここに改めて誓う。そして、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに向けて一層努力するとともに、平和で人権が尊重される社会の実現に取り組むことが御霊に報いる道である。」と決意を述べました。

10月23日 南丹市戦没者追悼式

「地域と防災機関が一体となった訓練を実施」



▲消火訓練を行う住民の様子

10月1日、南丹市総合防災訓練を行いました。震度6弱の地震が発生し、家屋の倒壊や土砂災害、多数の負傷者が出ている想定で、地域住民の皆さんと各防災関係機関が一体となった総合的な訓練を実施しました。

第1部の住民避難訓練は市内の34の地域で実施され、住民の皆さんはスムーズに行動し避難を終えたことを確認しました。

また、第2部の会場となった八木運動公園グラウンドでは、医療・消防・福祉・ライフライン関連など32の関係機関や団体が参加し、炊き出し訓練、土砂災害救出訓練、座屈ビルからの救出訓練、応急救護訓練などが次々と展開されました。

10月1日 南丹市総合防災訓練

中学生記者が行く!!

『大堰川と由良川の水運展』

職場体験として、南丹市役所秘書広報課へ来てくれた中学生の松田君。取材を通して感じた南丹市の魅力を紹介してくれます。

市内の中学生が南丹市の魅力を伝える!!

11月14日、南丹市立文化博物館にて、当博物館の学芸員である犬持雅哉さんに特別展「大堰川と由良川の水運」の解説をしていただきました。

特別展は南丹市の歴史や文化を一つの切り口から詳しく紹介してくれる内容となっており春、夏、秋などに期間限定で開催されます。

今回の取材では南丹市やその周辺における水運、中世や近世における水運、そして川と人の生活の関わりについて古文書、絵図、写真などから解説していただきました。

京の都に近く森林面積が市内の80%以上を占める南丹市では古代より林業が盛んであり、取れた木材を消費地へと運ぶために由良川や大堰川を使った水運が発達しました。昔より南丹地域に住んでいた

人々の多くは、生業として木材を生産してきたので、消費地である京の都などに木材を運ぶことは生活を成り立たせるために必要なことでした。

こうした歴史的背景もあり、南丹地域の人々の文化の根底には、この二つの川、そして水運がありました。南丹の人々と川は密接に関わり共に暮らしてきたということがわかります。

水運が鉄道や自動車の登場によって廃れ、川と関わる機会が減ってしまった今、もう一度人と川の生活についてみつめなおしてみたいです。



▲学芸員の犬持さんの説明を熱心に聞く松田君

地域おこし協力隊レポート

9期生として令和5年9月から活動している矢野大輔です。

地域の方との会話や市内各地で実施しているイベントへの参加など、南丹市ならではの生活を楽しんでいきます。また、課題も感じたので、それを活動テーマにしました。

私の活動テーマは、「情報発信力の強化」と「空き家の活用支援」です。今回は「情報発信力の強化」に関する活動を紹介します。

具体的には、イベント情報や観光情報などを集約したポータルサイトを構築し、南丹市に関する情報を市内外に発信していこうと考えています。

ポータルサイトは一般公開を開始しています。掲載の情報は徐々に拡充していく予定ですが、皆様と一緒に情報を充実させ、愛されるサイトに育てていきたいです。

ぜひご覧いただき、ご意見やご感想をお寄せください。また、

「イベント情報の掲載希望」、
「この情報もアップして!」、

「最新の情報はこれだよ!」など皆様がお持ちの情報もお待ちして

います。

3年間と短い任期ですが、どうぞよろしくお願ひします。

サイト名:

いいね!なんたん

URL:

<https://good-nantan.online/>



問い合わせ先: 矢野隊員

メール hito.sizen.chiiki.tunag
u.ya@gmail.com



みんなで描こう

協働のキャンパス 73

地域のさらなる活性化を目指して！

興風をいきいき・楽しく

興風区は、JR日吉駅から車で約10分、田原川沿いに位置し戸数86戸、人口239人。65歳以上39%、55歳以上54%（令和4年4月1日現在の）の準限界集落です。かつては商店もあり、比較的活発な地域でしたが、少子・高齢化が急速に進み、徐々に地域行事ができなくなり、日常生活にも課題が発生する状況になってきました。

令和4年度、市の集落支援事業の対象になったことをチャンスととらえて、興風会のむらづくり実



興風よっといで市



興風盆踊り大会

「Iターン者との交流キャンプ

践チームとして「興風区集落支援事業推進委員会」を組織し、地域活性化に取り組みこととしました。

アンケートや懇談会で出た意見、アイデアを基に、①困りごと対策 ②交流イベント ③定住促進 ④地域の歴史を知る ⑤農産物販売 ⑥施設・土地の有効活用の6つのプロジェクト(PJ)に取り組むことにしました。

交流イベントPJの「興風よっといで市」は、2ヶ月に1回、フリーマーケットや農産物販売、カフェ、模擬店を開設し、これまで3回開催しました。回を重ねることに参加者も増え、徐々に定着しています。また、何十年ぶりに開催した「興風盆踊り大会」は、年配者に

「地域活性化活動の紹介」日吉地域編

とっては懐かしく、若い人にとっても楽しいひと時となりました。

例年取り組まれている「夕涼み会」にも推進委員会として参画、300人を超える皆さんに来ていただき、こどもたちも楽しんでくれました。「興風音楽の集い」は、生バンドの演奏やカラオケで自慢のものを披露し、ステージと観客が一体となって大いに盛り上がりました。定住促進PJの「Iターン者との交流キャンプ」では、地元にいる者では気付けない地域の良さを知ることができました。その他、「興風の歴史を知る」PJでは、地域の歴史の勉強会を行っています。当区には区有・市有の施設も多くあり、これらの施設の有効活用も課題の一つに挙げています。



夕涼み会



興風音楽の集い

集落支援事業の内容は、およそ月1回発行している「むらづくり通信」で情報発信しています。取り組みを重ねるにつれ、「次も楽しみにして」で」という声も聞かれ、少しずつ地域に笑顔と活気が出てきたように感じています。

地域で育つこどもたちや、住民の皆さんが地域に愛着を持ち、Iターンの皆さんにも住みやすさを実感してもらえよう、今後も「つながり」を大切にしたいイベントを開催し、地域の活性化につなげたいと思っています。

地域でお手伝いできることがあれば、ぜひお声をください。

問い合わせ先 集落支援員室
Tel(0771)68-01108

南丹市観光協会連絡会だより

JRふれあいハイキング 「日本最大級の山城・ 八木城跡ガイドツアー」

11月23日に八木町観光協会主催のJRふれあいハイキングが行われ、43名の方が参加しました。午前中は、JR八木駅に集合した後、春日神社にて3班に分かれ、内藤ジョアン顕彰碑を見た後、丹波三大山城の一つと言われる「八木城跡」に登りました。八木城跡の登山ルートでは、地元ガイドから、戦国のキリシタン武将内藤ジョアンにまつわる話を聞き、歴史に想いを馳せながら登山を楽しみました。

春日神社で松茸弁当を食べ午後からは、龍興寺、東雲寺を巡り、森の京都「天上の木」として選定されている大堰橋上流約100m右岸にある大ケヤキに
圧倒される等、
京阪神エリアからの参加者らは南丹市の魅力を満喫しました。



南丹市インスタグラム フォトコンテスト 2023年9月・10月 優秀賞発表 テーマ「私の大切な場所」



作品名：「郷の花火」
撮影場所：(八木町) 氷室の郷
撮影者：ikasamashi1091



作品名：「中秋の名月の周りをスキいっばいに。」
撮影場所：(日吉町)胡麻
撮影者：matsutabi



作品名：「始まり」
撮影場所：(八木町) 大堰川緑地公園
撮影者：makoto884649



▲南丹市フォトコンテスト
テーマ「ここに残る風景」への応募もお待ちしております。

フィルム・コミッション(映像制作を支援する非営利団体)って何？

第3回 ～日本で最初に設立されたFCは？～

日本で最初に設立されたFCは、2000年2月設立の大阪ロケーション・サービスクラス協議会(現在の大阪フィルム・カウンシル)です。

この設立には、1989年公開のアメリカ映画『ブラック・レイン』が大きく影響しています。

リドリー・スコット監督、マイケル・ダグラス主演。共演した松田優作の遺作となったこの映画は公開前年の88年に大阪で大規模なロケ撮影が行われました。

当時の大阪府知事は、映画制作にできる限り協力する、と伝えていましたが、当時の日本にはFCが存在しなかったため、施設や道路などの使用許可を制作側がすべて個別に交渉しなくてはならず、さらに実際のロケでは撮影に慣れない施設との間でさまざまなトラブルが続出したのです。

結果、脚本の修正が必要となり、クライマックスのカーチェイスのシーンも、警察が道路使用許可を出さなかったため、アメリカでの撮影に変更され、大阪ロケは不十分なまま終了しました。

この状況には監督も不満と怒り

フィルム・カウンシル

を表明。ハリウッドでも、日本は規制が多く映画ロケが難しい国、という悪い評価が広まってしまい、以降28年間、海外の大作映画の大阪ロケは行われませんでした。

ロケへの協力体制が不十分だったことへの反省を踏まえて、大阪府・大阪市・大阪商工会議所など大阪の行政、経済界が協力して、日本初のフィルム・コミッション、大阪ロケーション・サービスクラス協議会が2000年に誕生。「大阪の知名度向上と集客力の強化および大阪の映像関連産業活性化を図る」を目的に掲げ、現在は大阪フィルム・カウンシルの名称で活動し、海外や日本の映画、TV、CMなど年間170本前後の映像作品の制作を活発にサポートしています。

ふじい しんや
藤井 真也



南丹市サブカルチャー戦略アドバイザー、南丹市フィルムコミッションアドバイザー。元集英社学芸編集部部長。(映画、アニメ、マンガ、音楽、演劇などエンターテイメントに詳しい)

なんたんの景観ちょっと情報



【冬と景観】

色鮮やかな紅葉も終わり、冬を迎え、寒い日々が続きます。そんななか、市内各地では歴史的な風景と合わさり、清閑な景観を形成します。冬の冷たく澄んだ空気と相まって、1年の始まりにどこか身が引き締まるような思いを感じます。雪が降ると、見慣れた場所でもいつもと違う景色が見られますので、身近な場所にも足を運んでみてはいかがでしょうか。

今回は市内の冬の景観を紹介します。

景観の小窓



第52景



(園部町天引 薬師堂)



(八木町船枝 京都帝釈天)



(日吉町田原 多治神社)



(美山町北 かやぶきの里)

問い合わせ先
地域振興課
Tel (0771) 68-0019
美山支所総務課
Tel (0771) 68-0040



市ホームページ

※景観条例(計画)の詳細は市ホームページに掲載しています。

南丹市では「景観条例」を制定しており、計画区域内での建築物や工作物の新築・移転、屋根や外壁の塗替え、土地の形質変更や土石等の堆積などを行う場合には、行為の着工30日前までに市への届出が必要です。

市民の皆さんをはじめ、南丹市に関わる多くの方々と一緒に、優れた景観を守り育てていきたいと考えていますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

景観計画区域・美山町地域

届出対象行為は、工事着工の30日前までに市へ届け出ください



生きぬく
ために

なんたん **健康・ノート**

健康で幸せなまちづくりのために

うけてよかった

市民健診・がん検診

▼60歳代女性(令和5年)

乳がん検診受診後に、要精検となりびびくりした。病院に行くと乳がんとわかった。乳がんの症状がよく言われているしこり等の症状が全くなかったので驚きと怖さを同時に感じ混乱してしまった。

リンパ節には転移していなかった。発見が早かったからと医師に言われた。他のがんと比較して進行がゆっくりな乳がんは自覚症状が出にくいとも言われた。

今は病院で定期的に検査を受けて、転移などはなく日常生活にも支障なく過ごしている。検診の場があることはありがたいなと感じている。

自覚症状のない怖さ

毎年の大腸がん検診で早期発見

▼70歳代女性(令和3年)

5年前の市民健診で大腸がん検診を受け、要精検となった。病院の精密検査で、早期の大腸がんであることがわかり、手術で摘出した。幸い、早期がんで規模が小さく転移もなかったことから手術後も元気よく過ごしている。

お医者さんから、発見が一年遅れていたなら手術ができない状況だったかもしれないと言われたので検診を受けておいてよかったと心から思う。

市では、市民健診、がん検診を毎年実施しています。

保健師が聞いた住民の方のエピソードから、健診・がん検診の大切さを伝えます。

特にがん検診の精密検査の大切さをみなさんに知っていただきたいと思えます。

職場復帰できたことが嬉しい

▼60歳代男性(平成28年)

肺がん検診で要精検となり、早期がんを発見。仕事を休み、治療に専念の結果、無事、職場に復帰できた。

自分は、健康には自信がありこんなことになるとは思っていませんでした。検診のありがたさを実感した。

55歳までにがんになる確率

男性 5%未満 女性 約9%

70歳までにがんになる確率

男性 女性 とも 約21%

人生100年時代

いきいきと健康で幸せに生きるために

まずは、毎年(健)診受診を!

市民健診は 生活習慣のチェックが 気軽にできます

国立がん研究センターをはじめとする研究グループでは、日本人を対象としたこれまでの研究を調べました。その結果、日本人のがんの予防にとって重要な、「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の5つの改善可能な**生活習慣**に「感染」を加えた6つの要因を取りあげ、「日本人のためのがん予防法（5+1）」を定めました。

科学的根拠に根ざしたがん予防ガイドライン 「日本人のためのがん予防法（5+1）」



健診の結果、改善が必要な方には、保健師、栄養士が伴走支援します。

出典「国立がん研究センターがん情報サービス」

受けるとポイントがつきます
なんたん
健幸ポイントで、
さらにお得に！

手軽な費用で受診できる
健診ですが、
信頼できる検査です

問い合わせ先 保健医療課
TEL(0771)68-0016

種類	対象者 (年度末年齢)	市民健診で 受けた場合	自費の 場合※
メタボ予防健診	20～39歳	500	7,400
特定健康診査	40～74歳	無料	10,400
個別特定健康診査	40～74歳	1,000	10,400
すこやか健診	健診日に満75歳以上	無料	9,000
個別すこやか健診	健診日に満75歳以上	無料	9,000
胃がん検診	40歳以上	500	7,700
肺がん検診	40歳以上	300	2,200
大腸がん検診	40歳以上	100	1,500
乳がん検診	40歳以上の女性	400	9,900
個別乳がん検診	40歳以上の女性	1,000	9,900
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	400	6,600
個別子宮頸がん検診	20歳以上の女性	500	6,600

★年度末70歳以上は、自己負担なし ※ 参考価格(医療機関毎に異なる)

なんたん健幸ポイント、健診・がん検診で、がん社会を生き抜きましょう
(1月末に世帯主宛に市民健診の申込書を発送します。)

「心を通わせる活動から」

「地域のみならずと交流する機会を提供して下さって感謝しています。笑顔と元気いっぱいの方々と、また出会う日を楽しみにしています。」

これは、本校の四年生が開いた、「との小最高サロン」に参加して下さいた方からいただいた言葉です。

殿田小学校では、人権教育をすべての教育の基盤と位置付け、地域とともに学ぶ「ふるさと学習」も人権の視点を大切に取組としています。

四年生は、昨年度から地域の方を招いてサロンを開いています。「相手のことを考えたサロンにしよう。」を合い言葉に、一緒に遊べるコーナーを考えました。準備をしている中で、「来てくれた人が元気になってほしい」と思って計画したサロンだけど、私もすごく楽しくなってきた。」と話す子がいました。相手と心がつながり喜んでもらえることが子どもの喜びであり、次の活動につながっていくのだということが感じられた一コマでした。

また、一年生の「はないっばいになあれ」の活動は四年目となりました。「去年、こども園にいたとき、お花をもらってうれしかったから、今年もプレゼントしたい。」という思いを

もって準備を始めた子ども達。こども園に行った時には、「みんなにちゃんとお花は届いたかな。」と心配した子が一人ひとりに確認している姿がありました。学校で開いた「お花屋さん」に来てくださった方から、子ども達の頑張りに対する、感謝と励ましの言葉を綴ったうれしいお手紙が子ども達の元に届いています。

こうした取組を継続することにより、地域の方と一緒に活動することが特別なことではなくなり、子ども達から「今日も地域の人、来てくれるの？」と楽しみにしている声が聞かれます。

これからも、地域の方々とのふれあいを通して、子ども達が自己肯定感を高め、人を思いやる心を育んでくれることを願い、心を通わせる活動を進めていきたいと思っています。



◀1年 お花屋さん



▶4年 との小最高サロン

南丹市立殿田小学校

人権教育主任 中澤 香澄

ふ・れ・あ・い



—第64回—

人権の花運動

人権の花運動は、おもに小学生を対象とした人権啓発活動で、昭和57年度から全国的に実施されています。この運動は、学校に配布した花の種子や球根などを、子どもたちが協力し育てることによって、生命の尊さを実感し、その中で、豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としたものです。

南丹市でも市内の小学校等で人権の花運動が展開されており、10月から11月にかけて、各校で子どもたちが水仙の球根を、人権擁護委員の皆さんや先生方と一緒に植えました。春には美しい花が咲くことでしょう。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受けた、市町村の

区域で人権擁護活動を行うボランティアの方々です。この制度は、様々な経歴の人たちが人権尊重の考え方を広め、地域の中で人権が侵害されないように配慮して人権を擁護していくという考えから設けられた、諸外国には例を見ないものです。現在、約1万4千人が法務大臣から委嘱され、全国の各市町村に配属されて、積極的な人権擁護活動を行っています。南丹市では17名の人権擁護委員の皆さんが活動しています。

(人権政策課)

特設人権相談

さまざまな人権問題に関する悩みの相談に、南丹市人権擁護委員が応じます。電話でお申込みください。(0771-62-0208)

★八木市民センター

偶数月の第2火曜日13時30分~16時

★日吉生涯学習センター

奇数月の第3火曜日13時30分~16時



自宅から利用できます！

便利なWebサービスの紹介

皆さんは図書館を利用する
とき、南丹市立図書館のホー
ムページがとても便利だとご
存じですか？ホームページ
を開くと左側に表示される、
Webサービスをクリックし、
WebOPACにログインするこ
とで、ご自宅から様々なサ
ービスを利用することが出来
ます。例えば、南丹市立

図書館所蔵の資料の予約や、貸
し出し期間の延長など図書館に
行かなくてもできることがあります。
ただし、一部例外の資料
があります。ホームページ内
Webサービス使用方のペー
ジにはより詳しい情報を載せて
います。ぜひ、南丹市立図書館
のホームページをご活用くださ
い。

新刊紹介

『一生使える「文章の基本」』

著者…木山 泰嗣
発行…大和出版



著者いわく、伝わる文章とは「読み手への心づかい」が由来している文章のことです。この本では、読み手に配慮し、文章でのあらゆる「すれ違い」をなくすための方法が書かれています。

『子ぎつねと音のなる石』

著者…くすのき しげのり
発行…酒井以
発行…あかね書房



旅する音楽家のジンは、宿で歌を歌っているときに、不思議な少女と出会います。音のなる石をジンに渡した少女が実は…？文章も挿絵も美しい一冊です。

暮らしと

ホッと

—第89回—
消費生活情報

海産物の電話勧誘
トラブルに注意しましょう！

事例 携帯電話に知らない番号から「以前注文いただいた者です。北海道の海産物を1週間後に届けます」と電話があった。約2万円分を注文した。念のため、以前に注文した事業者に電話したら電話は掛けてないと言われた。携帯の履歴から勧誘してきた業者に電話してキャンセルを申し入れたが、後日に業者から契約書が届いた。解約できているか心配だ。(70歳代・男性)

(独)国民生活センター「注意喚起情報」から

★ひとこと助言★

●「以前購入してもらったことがある」と言って信用させたり、「海産物が売れなくて困っている。支援してほしい」と言っ

える可能性があります。少しでもおかしいと感じたら、きっぱりと断りましょう。

●突然の電話で購入を承諾してしまっても、法律が定める書面を受け取ってから8日以内であれば、書面やメールでクーリング・オフすることができます。

●一方的に商品が届いた場合は、送り主の名称や所在地をメモするなど事業者の情報を控え、受け取りを拒否し、代金を支払わないようにしましょう。

●一方的に送り付けられた商品代金を支払った場合でも、販売業者に返金を求めましょう。

一人で悩まず相談ください

●商品やサービス購入でお困りごと、不審に思うことがあります。したら迷わず相談ください。

- お気軽にご相談ください
- 消費者ホットライン
TEL188(いややー)
 - 南丹市消費生活相談窓口
TEL(0771)68-0100
月曜・火曜・金曜(祝日は休み)
午前9時～午後4時
 - 京丹波町消費生活相談窓口
TEL(0771)82-3803
水曜・木曜(祝日は休み)
午前9時30分～午後4時

(商工課)

堰水好日 えんすいじょうじつ

市長 コラム

◆コウノトリが以前より頻繁に南丹市に飛来するようになった。2014年や16年に美山町や園部町での目撃情報はあったが、最近ほぼ毎年、日吉町や八木町も含め各地でみられる。特に八木町では農業用溜池周辺で7羽・8羽と群れで餌をついばむ姿が市民によって何度も目撃されている。

◆コウノトリはかつて日本に広く生息していたが、農薬の普及などが原因で激減。1956年に国の特別天然記念物に指定され、飼育繁殖も始まったが、71年に日本で野生のコウノトリが絶滅。その後ロシアや中国からの親鳥導入により人工繁殖をすすめ、豊岡市のコウノトリの郷公園では増殖後05年より自然への放鳥を始めた。◆07年には野外での巣立ちが始まり、繁殖地は兵庫、京都、福井、鳥取、島根、徳島、栃木、石川県と広がる。17年に100羽、22年9月末時点で310羽と野外の個体の増加がみられる。京都府内では22年京丹後市と綾部市で繁殖活動により巣立ちが各3か所見られた。

◆コウノトリは高木の頂上部で産卵する。巣作りを助けるため各地で電柱の上に丸い大きなざるを載せた様な形の「巣塔」が立てられている。南丹市でも20年日本コウノトリの会の協力を得て、八木町室橋自治会が文覚池横に設置。23年冬、つがい枯れ木を運ぶなど繁殖に向けた準備のような行動を見せたが、産卵には至っていない。

ない。

◆南丹市がコウノトリの繁殖地になるためには豊富な餌場が必要。コウノトリは肉食で一日当たり食べる量は約500gと多量だ。主な餌はドジョウ、ナマズ等の魚類、カエル、ヘビ、貝類、昆虫類などだが、農薬使用で一時は餌が激減。生き物の多種多様な生息を支える地域の環境づくりが重要となる。

◆兵庫県但馬地域では、約20年前から無農薬、減農薬の「コウノトリ育む農法」を導入し、稲刈り後の冬も水を張る「冬季たん水」も実施。年間を通じて餌となる魚やカエルなどが豊かに息づく環境につなげている。また、土地改良予定の水田3・7haを計画変更し、餌場となる湿地を整備している。

◆南丹市と但馬では事情は違う。だが、ウクライナ戦争後、肥料・飼料や農薬の不足や高騰が農業に影を落とす今、日本の食料自給率の向上が喫緊の課題となり、また、食の安全への関心も高まってきた。有機農業や無農薬・減農薬栽培は問題解決の有望な答えとなる。このことは、結果としてコウノトリ繁殖を支える生き物豊富な南丹市の農村づくりに繋がる。コウノトリが次代のまちづくりの幸せを運んでくれることを期待する。



▲庭のヒオウギ

南丹市長 西村良平



お知らせ

「お知らせなんたん」と「広報なんたん」が一つに……!!



令和6年4月から「お知らせなんたん」と「広報なんたん」が統合し、一つの広報誌になります！全ページカラー。スマートフォンやパソコンでも見ることができます。



●総人口：30,174人(-27)
(男：14,655人・女：15,519人)
(-12) (-15)
●世帯数：14,413世帯(-4)
(令和5年12月1日現在)
()内は前月比



市の花 さくら



市の木 ふな



市の鳥 オオルリ

森・里・街・ひとがきらめくふるさと **南丹市**
なんたんし

〈お詫びと訂正〉
広報なんたん10・11月号の記事に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
20ページ
みんなで描こう協働のキャンパス「新庄郷育館の活動」
(誤)八木町の山室、諸畑、池上、室橋、船枝区
(正)八木町の山室、諸畑、池上、室橋、船枝区、野条

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653
URL:https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/
e-mail:hisyo@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。